

小学部宿泊学習

9月14日（木）～15日（金）の1泊2日で、宿泊学習を行いました。宿泊学習は、日頃の学習をベースにしながら豊かな経験をすること、また、生活のきまりを守り、友達と協力して活動すること等をねらいに、隔年で実施しています。今年度は天候にも恵まれ、各児童が充実した2日間を過ごしてきました。活動の様子をご紹介します。

一日目の午前中は、フルーツライン沿いにあるあづま果樹園へ。ぶどうや梨の果物狩りをしました。「ぶどうの葉っぱは、きゅうりと違ってつるつるしていたよ。」と、生活単元学習で育てた野菜との違いに気づいたり、「お店で売っているぶどうより甘くておいしいね。」「1房に40個も実がついていたよ。」と自分で収穫したぶどうのおいしさに感激したり、「畑に停まっている赤い車は何をする車なのかな？」と普段目にしない農作業用の車に興味を持ち、果樹園の方に質問をするなどの姿が見られました。午後は、宿泊先であるあづま総合体育館近くにある「ささき牧場」へ。牧場の方から牛についてお話を伺ったり、子牛に触れさせていただいたりしました。隣接するカフェではバターづくりにも挑戦！材料を入れたボトルを一生懸命振ると、おいしいバター

一が出来上がりました。自分たちが普段口にかけている牛乳や乳製品が、牛や酪農家の方とつながっていることを実感できる経験となりました。二日目はあづま総合運動公園のトリムの森でアスレチックに挑戦。「全部の遊具を制覇したよ！」と満足げに教えてくれた児童もいました。

二日間の活動や経験はもちろんですが、家庭から離れて宿泊学習を通して、入浴や食事の配膳、身の回りの整頓など、日常生活面でも自分のことは自分でやってみようという意識して頑張る子どもたちの姿がありました。宿泊学習で経験したこと、学んだことを今後の学習に生かしていきたいと考えています。

